

れいわごねんど ささのかい じぎょうせつめいかい
令和5年度 ささの会事業説明会

れいわごねんどの ささのかいの とりくみについて
令和5年度のささの会の取りくみについて

ながおか ひろゆき
ささの会 長岡 洋行

れいわ5ねんど ほうじんじぎょうけいかく ほうじん じゅうてんじこう

令和5年度法人事業計画 【法人重点事項】

- I ^{しょうがいしゃ} 障がい者 ^{けんりじょうやく} 権利条約 ^の の ^{そうかつしよけん} 総括所見 ^に に ^{まなぶ、} 学ぶ、 ^{けんりいしき} 権利意識 (すべての人の権利をたいせつにする気持ち) ^の の ^{さいこうちく} 再構築
- II ^{はたらきやすく} 働きやすく、 ^{あたらしことに} あたらしいこと ^に に ^{ちょうせん} 挑戦 ^{できる} できる ^{そしき} 組織 ^{かいかく} 改革 ^と と ^{じんざい} 人材 ^{いくせい} 育成
- III ^{ちいき} 地域 ^{ねつとわーく} ネットワーク ^の の ^{せつきよくてきな} 積極的な ^{さんかくと} 参画 ^と と ^{ちいき} 地域 ^{づくり} づくり ^に に ^{こうけん} 貢献 ^{できる} できる ^{きのう} 機能 ^の の ^{きょうか} 強化
- IV ^{ちいき} 地域 ^{にーず} ニーズ ^に に ^{そくした} 即した ^{しんき} 新規 ^{じぎょう} 事業 ^{けいかく} 計画 (新しい事業所をつくる計画のこと) ^の の ^{さくてい} 策定

I 障がい者権利条約の総括所見に学ぶ、権利意識の再構築

【ポイント】

- ・障がい者権利条約・統括所見とは
- ・…国連権利擁護委員会と日本の建設的対話が開かれ、9月9日に
日本政府へ92項目にわたる改善が必要な総括所見が出されたもの
- 障がい者という理由で、その人を制度や施設運営にあてはめるような支援はだめ
- 障がいのある人ひとりひとりの想いに沿った支援を
- ・国の方針 施設から在宅支援へより加速 ⇒2026年度までに入所定員5%以上削減、等

【とりくみ】

- ・ご本人を権利の主体とした支援 どこでくらしたいかなど、本人の意思決定支援をすすめる
- ・法人虐待防止・検証委員会を新たに設置
- ・くらしの場の選択肢をふやしていくこと

【法人重点事項】

II 働きやすく、新しいことに挑戦できる組織改革と人材育成

【ポイント】 ばいりつ

- ・人材不足が深刻……福祉分野の有効求人倍率3.60%（全産業1.13%）
背景として、コロナ禍の企業活動が活発となり、一般企業の給与水準があがっている。
⇒ ますます福祉業界に人が集まりにくくなる
- ・昨年度、ささの会の離職率が約10%（全国の介護業界での離職率平均は14.9%）
コロナ禍ということもあり、交流も減り、閉塞感が高くなったことも背景。
⇒ 働きやすく 働く場として選ばれるような 組織改革

【とりくみ】

- ・コンサルタントを導入し、公平な評価に基づくキャリア制度の改革をすすめる
- ・人材確保のとりくみ
 - …現場実習・インターンを兼ねたアルバイト雇用、必要に応じて派遣（はけん）会社の活用
- ・職員のメンタルヘルスや困りごとへのサポート「何でも相談窓口」設置

III 地域ネットワークの積極的な参画と 地域づくりに貢献できる機能の強化

【ポイント】

- ・地域での支援は、いろいろな機関と協力する力が求められている。
- ・さいたま市でモデルとなっている「岩槻の顔の見えるネットワーク」、地域協議会を今後もより発展できるようにとrikumu。
- ・専門性の向上・・医療的ケアや行動障害のある人などのニーズにこたえられる人材の育成が必要。

【とりくみ】

- ・職員が積極的に「地域を体感できる機会」を増やす
- ・地域で動く人材、地域を動かす人材を育てる

【法人重点事項】

IV 地域ニーズに即した新規事業計画の策定

【ポイント】

- ・入所施設やグループホームで、重度化・高齢化がすすんでいる。ご本人の変化にあったくらしの場の環境や支援体制が必要。
- ・地域の関係者と協力をして地域支援をするための、拠点的な場が必要。
- ・法人の事業がふえて、法人事務局の機能を強化する必要がある。
- ・職員の研修会場や会議室がせまくて、たりない。

【とりくみ】

- ・年度内のあたらしい事業計画の策定と ささの会プロジェクトの立ち上げ
- ・地域ニーズに即し、くらしの場の選択肢となるあたらしい事業の計画
令和9年度完成をめざす